

きょう第3試合 水城戦

光星春1勝へ全力



いざ初戦へ。最後の調整で仲井宗基監督（右手前）の指示に真剣な表情で耳を傾ける光星ナイン＝24日、豊中ローズ球場

【大阪府で本社取材班】
第83回選抜高校野球大会に2年ぶり5度目の出場となる八戸市の光星はきょう25日の第3試合で、いよいよ甲子園の初戦に挑む。1回戦の相手は昨秋の関東大会ベスト4・水城（茨城）。

ナインは決戦を翌日に控え24日、大阪府豊中市の豊中ローズ球場で最終調整を行い、悲願の「春1勝」へ、

元気がいっぱいプレーを繰り広げた。
光星ナインは約2時間、走塁、打撃、守備、野手のメニューで調整した。走塁では、リードオフマンの澤辰寿や俊足の天久翔斗らが、プレーの流れを踏まえ、したたかに次の塁を狙う姿勢を見せた。

携帯サイトで高校野球速報
有料携帯サイト「デーリー東北」のイルで選抜高校野球の試合経過を速報しています。リンク先のスコアや試合経過のほか、各校のチーム成績、投手成績、打者成績とデータも豊富。光星へ応援メッセージもお寄せください。QRコードから簡単アクセス！

打撃練習では、ナインが投手を至近距離に立たせるなどして約30球を打ち込み、一球一球に集中してボールを見極めながらサインをグしていた。エース秋田教良は捕手松本憲吾を座らせて約20分間投球練習。最後

はシートノックを行い、はうと初戦突破へ手応え十分の様子。川上龍平主将は「いよいよ本番だが、まだ実感はなく、それだけ甲子園が特別な場所ということ。浮つくことなく本番に臨む。打ちまわって勝つのが理想」と時折笑顔を見せながら語った。

中軸仕上がり順調
○：光星打線、特に注目

を集めるのが、秋の東北大会準決勝で3本塁打の田村龍弘と、打率チームトップの金山光昂。24日の打撃練習では、ともに鋭いサインで右に左に強烈な当たりを放ち、順調に仕上がっている様子だった。
田村は「前日は柳越えがあったのに、きょうはなかった」と苦笑い。初戦に向けて「甲子園は、いつも通りが出ないのが前提。そればかりがダメで、自分まで自然体。一方、田村の1年先輩でもある金山は「沖繩キャンプ以降、いい打撃の感覚を維持できている。長打も結構打っていた」と本番に向けて自信をみながら話していた。

きっちり役目を果たす

⑭岸本竜之介

いよいよ初戦を迎えますが、自分でも意外なほど落ち着いています。江坂の宿舎が実家に近いため、

センバツ
しだよりの

に緊張することなく、本番に挑むことができそうです。



24日の練習会場だった豊中ローズ球場は、何度か試合などで来たことがある球場です。昔を思い出しながら、充実した調整ができました。試合では、一塁コーチャーを務めます。途中で出場する機会があれば、ベンチ入りできなかつた同級生の分も、きっちり役目を果たそうと思っています。